

開発者・挑戦者ご本人の夢と苦闘の歴史に学ぶ

発足41周年記念「INNOVATION FORUM 2023年度 後期例会」

— 急速に進むAI/IoTなどDX、地球環境保全を強く求められるGX、科学技術主流の画期的変化の時代、に求められる“日本独自の技術開発とものづくり”を考える —

※本フォーラムは産業と分野、国と文化の違いを超えた感動的出会いと相互研鑽の機会と場の実現を目的に活動しています。

と き・講 師

ご 依 頼 テ ー マ ・ 概 要

1

2023年
7/13
(木)



馬立 稔和氏
(株)ニコン
代表取締役 社長執行役員 CEO

100年企業 ニコン

『新しい「次の」時代への挑戦』

ニコンは、1917年、最先端の光学機器を製造する目的で設立され、常に光の限界に挑戦し続けながら、社会に貢献し続けている会社です。100年以上の歴史の中、幾度かの困難に直面しながらも、これを乗り越え、新しい事業展開を行いながら発展してきました。技術の進歩が加速し、価値観の多様化と共に社会も大きく変わって行こうとしている今、「人と機械が共創する社会の中心企業になる」という将来ビジョンを掲げ、明るい未来の実現に貢献する会社になることを目指した挑戦を行っています。この取り組みについて紹介します。



2

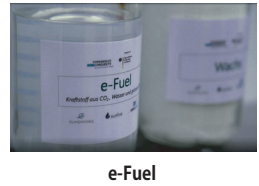
8/23
(水)



入交 昭一郎氏
元本田技研工業(株)
取締役 副社長
元セガ・エンタープライゼス(株) 代表取締役社長

『日本が選択すべき カーボンニュートラル燃料の社会実装』

氏は本田宗一郎の下、F1エンジン、初めてマスキング法をクリアしたCVCCエンジンの開発とそのビッグ3への技術供与などに関わった、当時、日本を世界に輝かせた一人。セガ時代は今日を先取りした「ゲーム機と通信機器の融合」、「立体的三次元映像」を楽しむ「ドリームキャスト」の開発に全力傾注した。カーボンニュートラルが求められる今、氏は日本が求めるべきは内燃機関切り捨ての電動化か、水素、又は再生可能資源由来の電気エネルギー使用“e-Fuel”(合成燃料)か問う。



3

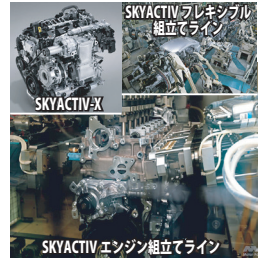
9/26
(火)



人見 光夫氏
マツダ(株)シニアフェローイノベーション
一般社団法人 MBD 推進センター 代表理事

『試作抜き、モデルベース/フルコンピュータ支援で開発を成功に導いた Model Based Development (MBD) に取り組んだ背景と真の狙いについて』

2016年、「World Car of the Year」「World Car Design of the Year」ダブル受賞「SKYACTIV ロードスター」に搭載の「SKYACTIV エンジン」は、「試作ナシ、完全コンピュータ支援の Model Based Development (MBD)」に依る開発だった。この中心だったのが人見光夫氏。国は今、この「MBD」活用の高度割合せ開発技術「SURIWASE-2」の実現・普及で、日本の国際競争力強化を計ろうとしている。この「MBD」とは具体的に如何なるものか、その開発者 人見氏からその詳細をご披露願う。



4

10/20
(金)



田中 英明氏
松尾建設(株)
理 事
工事原価本部 副本部長

『GX 時代における、 木造建築への松尾建設の挑戦』

伐採期を迎えている日本の森林現状から、2010年、国は方針転換。木造建築推進に大きく舵が切られた。又カーボンニュートラルの観点から木造建築は世界的注目を浴びている。日本は古来、高度木造建築技術を継承。近年は新たな木造建築技術が開発され、高さ350mの超高層木造ビル構想もある。当社は2015年より木造建築へ取り組み、2018年、国内初 CLT (Cross Laminated Timber: 直交集成板) の 2 時間耐火構造床 新本社建設。「ものづくり」の視点から、今後日本の木造建築の将来を展望したい。※同社は1885年(明治18年)創業の九州最大のゼネコン。



5

11/8
(水)



岡野 原大輔氏
博士、(株)Preferred Networks
代表取締役 最高研究責任者

『Preferred Networks の今日の挑戦』

深層学習技術などの先端技術を実用化することを目的に、2014年3月、Preferred Networksを西川徹氏と共同創業。「現実世界を計算可能にする」をミッションに掲げ、交通システム、製造業、ライフサイエンスはじめ、ロボット、プラント最適化、材料探索、教育、エンターテインメントなどの分野で事業化を進めている。2020年、2021年に独自開発の深層学習専用プロセッサ MN-Core™ 搭載のスーパーコンピュータMN-3が電力効率(Green500 ランキング)世界1位を3度獲得。東京大学在学時、総長賞受賞。昨年、データサイエンティストとして現代の名工表彰。「拡散モデル」(岩波書店)、他著書多数。



6

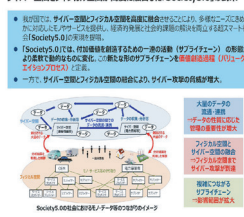
12/14
(木)



齊藤 裕氏
(独)情報処理推進機構(IPA)理事長
前フアナック(株) 取締役副社長 執行役員 IoT担当
元(株)日立製作所 代表執行役 執行役員 副社長 IoT推進本部長

『成長と社会的課題解決を両立する ための新たなデジタル変革に向けて』

IPAは、「デジタル技術の利用促進を通じ、国民の豊かな暮らしを実現する」ことを経営理念とする組織です。かつて現場力と人間力で他国を圧倒して経済大国として君臨していた日本がデジタル化の波に乗り遅れ、他国の後塵を拝しているという憂うべき現状を前に、今私たちがなすべきことは、個々の熱意と力で成長を遂げていた過去のモノづくり体験も糧に、データとデジタル技術を用いたデジタルエコシステムを創り上げ、デジタル社会での新たな成長モデルへの変革を推進する、これからの取り組みについてお話しします。



チ
ェ
ア
マ
ン



入交 昭一郎氏
(有)入交昭一郎 代表
元本田技研工業(株) 取締役 副社長
元セガ・エンタープライゼス 代表取締役 社長・会長

◆毎回の基本スケジュール

13:30~14:00 参加者自己紹介
14:00~15:00 講演(前半)
15:00~15:15 コーヒーブレイク
15:15~16:15 講演(後半)
16:15~17:00 Q & A

◆会場(リアルミーティング)

(公財)国際文化会館
東京都港区六本木5-11-16
東京大学伊藤国際学術研究センター
東京都文京区本郷7-3-1

○ 詳細ご案内を、毎回ほぼ1ヶ月前にお届けしています。
○ オンラインご参加の方にはZoom URLをお届けします。

新経営研究会
<http://www.shinkeiken.com>